



TAKEDA Smile

Web配信 第11号
令和4年12月
武田中学校 高等学校
教育後援会・広報委員会

2022.5.14 体育祭 開催！

高校入学直後から、ずっとコロナと共に高校生活を送ってきた子どもたち。「高校生活最後の体育祭は、保護者も観ることができたらいいな。」高3の保護者は皆さん思ったことと思います。生徒たちみんなで作り上げ、盛り上げようとする姿。安全に競技ができるように支えて下さる先生方を目の当たりにでき、本当によかったです。

生徒たちも「コロナ禍で、どの行事も中止になったり縮小される中で、やっとお客さんの入る高校生っぽいことができました。」と、話をしてくれました。また、同じグラウンドで写真を撮って下さっていたカメラマンの方は、「こんなに盛り上がって楽しそうな体育祭は、何年かぶりに見ました。」と、おっしゃっていました。どの学校でも、生徒たちは通常の活動ができない中で、「この瞬間も、当たり前ではないんだな。」と、思った一日でした。

広報委員 今井真耶





武田中学校・高等学校 体育祭 2年ぶりに有観客で開催！一致団結した白熱の1日!!!

息子の高校生活を振り返りますと 高校生活1年目。休校から始まり行事はすべて中止に。

高校生活2年目。行事は再開するものの無観客。高校生活3年目。やっと再開された有観客の体育祭！カメラ係として私は子どもたちの笑顔や真剣な眼差し、保護者の楽しそうな表情をグラウンドから見る事が出来ました。

コロナ禍の彼らの青春を近くで感じたスペシャルな1日でした。

広報委員 國邑能子



2022.10.28 中学SDGs発表会 開催！



3年ぶりに中学生による、SDGs発表会が公開されました。10月下旬ということもあり、少し肌寒さも感じましたが、寒さを吹っ飛ばすほどの魅力あふれる発表ばかり。さすが！SDGs活動が盛んな学校だけあって、どのグループも詳細に調べたことを堂々と発表していました。

発表も質問形式で進めたり、爆笑の連続で盛り上げていくなど、工夫がほどこされていました。「女性の受けている被害」をかなり鋭い視点で切り込んだり、「海洋汚染」や「強靱なインフラの構築」など、単語だけ聞くと自分達にはあまり関係なさそうな問題も、ペットボトルやスマホなどの身近なものを例に出して、分かりやすく、より身近に感じられたため、発表に引き込まれていきました。

中でも「納骨堂」が「住み続けられるまちづくりを」という視点からSDGsに繋がっているという切り口は、非常に興味深く、SDGsは知らず知らずのうちに身近なのかもしれないと思いました。

最後は問題提起したことに対して、自分たちでできることは何かということを実際に考え、意見を出し、解決策を見出そうとする姿は、中学生とは思えない力強さを感じました。

広報委員 岡田こずえ



2022.10.28 中学校合唱祭



コロナ禍で4年ぶりの開催となった合唱祭。実際の学校や子どもの様子が久しぶりに見られる合唱祭参観はとても楽しみでした。中学1年生の合唱の時、中学3年生の生徒たちが歌に合わせて心地よさそうに頭をゆらしている姿や、本番前の休憩時に指揮のイメージトレーニングをしている生徒たちを見かけました。音を体で感じ、舞台に上がるための準備や練習の大切さをこの合唱祭で学べたのではないかと思います。

また、事前に動画配信のお知らせがあったのは助かりました。撮影に気を取られず、落ち着いて子どもたちの合唱を聴くことが出来ました。撮影と動画編集をして下さった先生方に感謝いたします。

広報委員 菊植美佳



2022.8.28 「元気な中学・高校の学校説明会」

場所 シンヨーオークアリーナ



毎年、予定通り行われている学校説明会。コロナ禍であっても、進級、進学に中止はありませんものね。今年も、保護者による個別相談に色々な夢や希望を持った小学生や中学生とその保護者の方々が、武田のブースを訪ねて来て下さいました。武田への関心で1番高かったのは、スクールバスの事。どこにバスが停まるのか、何時に登校、帰宅するのか、バスの中での生徒の状況など、やはり 毎日のことですし、全生徒に対してスクールバスを運行している学校は、他に無いこともあり、そのシステムへの関心は多く寄せられました。

その次に皆さんが興味を持って下さっていたのは、グローバルスタディーコースの事。どのような授業が行われるのか、どのような体験が出来るのか、将来へ繋がって行く道の事など、熱心に聞いておられました。

その他、SDGsへの取り組み方やクラブの事を聞かれることも多く、その時の小中学生さんの表情はマスクで見えないけれど、希望に満ちたキラキラした目がとても印象的でした。

私が保護者の方々とお話ししていて、痛感したことがひとつあります。それは、武田に子どもさんの進学を考えていらっしゃる保護者の方々は、武田の生徒の様子 から、より多くの情報を得ようと、とてもよく観察しているということです。スクールバスを持っている場所や、生徒たちの様子、そこから学校の雰囲気までも感じ取ろうとしていらっしゃるのです。

まさに『見られている』と思いました。生徒も保護者も、どこで誰が見ているかわからない状況なんだと痛感いたしました。

『皆さん！見られていますよ』 帰ったらそうお伝えしようと思った、学校説明会でした。

教育後援会副会長 岡本妙子

2022.11.4 「広島県私立学校振興大会」

場所 広島国際会議場フェニックスホール

◀ 振興大会スローガン ▶

- 一、個性豊かな特色ある私立学校教育の振興
- 一、私立学校に対する経費補助金の拡充
- 一、教育費における公費支出の公私間格差の是正
- 一、私立学校における教育費の保護者負担の軽減



今年から県内の私立小学校、専修各種学校も参加されたということもあるのか、会場には約950名ほどの教職員の方、保護者の方が集まるなか、大会が開催されました。

当日いただいた資料の表紙に「振興大会スローガン」が記載してあり、「個性豊かな特色ある私立学校教育の振興」を見て、当時、呉武田学園に子どもの進学を決めた理由の一つに、学校見学会で説明していただいた呉武田学園の建学の精神、これからのITC教育を見据えたタブレットを導入しての授業、SDGsへの取り組みなど、県内でもいち早く取り入れ、子どもたちにより多くの刺激を与えてくれる学校だなぁ、と進学させることをワクワクしていた自分を思い出していました。

と同時に、私立学校への進学については学費面で費用負担が多くかかるという理由で進学する選択肢から外れている声も耳にしていたことも思い出しました。

初めての振興大会への出席でしたが、こうしたこれまでの努力のお陰で、数年前から高等学校では国の就学支援金及び広島県の授業料等軽減制度の拡充によって保護者負担の軽減につながっていたことも改めて知りました。決議した内容は、特色ある各私立学校の教育の重要性を踏まえ、教育費における更なる保護者負担・公費支出の公私間格差の是正といった支援をさらに要望することが決議されました。

子どもの進学を通じてこれからの私立学校がより良い教育の場となることを感じた一日でした。

広報委員 河上祥子

編
集
後
記

TAKEDA Smile、約1年ぶりの発刊です。コロナ禍による規制も緩和されつつありますので、広報委員会で何回か協議を重ね、この第11号を完成させました。やはり、顔を合わせながら話ができるのは、とても幸せなことだと感じます。今年、『青春はすごく密なので』という言葉が心に残りました。子どもだけでなく、大人にも当てはまりますね。今後も、密に連絡をとり、話し合いながら、よりよい教育後援会新聞を作成してまいります。

広報委員長 花之本貴子